

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 2 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 23 年 7 月 1 日 (金) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	○	部員	坂元 耕三	○
部員	西岡 英俊	×	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	×
部員	宮田 喜壽	×	部員	吉嶺 充俊	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	×	オブザーバー	田中 洋行	○			

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.2.0	平成 23 年度 第 1 回基準部会議事録案
資料-23.2.1	室内試験規格・基準委員会 岩石の繰返し強度試験方法の基準化 WG の構成案
資料-23.2.2	ISO/TC221国内専門委員会 名簿
資料-23.2.3	ISO関係 国際会議派遣理由書
資料-23.2.4	ISO 制定業務における資金援助に関する資料
資料-23.2.5	地盤調査関係基準類の改正素案
資料-23.2.6	平成 23 年度第 1 回開催時に審議された地盤調査関係基準類の改正素案に関する修正事項一覧表
資料-23.2.7	地盤調査の方法と解説 規格・基準改正に伴う ISO の取扱いに関する上申書
資料-23.2.8	理事会報告資料 [4/22 理事会議事録案, 5/13 理事会議事録案, 6/24 理事会議題書]
資料-23.2.9	地盤工学会表記法委員会報告資料 [6 月 8 日議事録案]
資料-23.2.10	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [5 月 16 日議事録案]
資料-23.2.11	地盤調査関係基準類の改正作業進捗状況表
資料-23.2.12	平成 23 年度 基準部の活動について
資料-23.2.13	
資料-23.2.14	
資料-23.2.15	
資料-23.2.16	
資料-23.2.17	
資料-23.2.18	
回覧資料	平成 23 年度第 1 回基準部会等にて審議された地盤調査関係基準類改正素案の修正原稿

1. 前回議事録の確認 (資料-23.2.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係 (資料-23.2.12)

(1) 日下部会長からの提案 継続審議

- ① JGS 基準の JIS 化の促進
- ② 基礎設計・施工基準の促進
- ③ ISO 活動への資金獲得
- ④ CEN のアジア版組織の構想
- ⑤HP 掲載内容の改訂について

中長期アクションプランに基づいた基準部の活動の方針 (資料 23-3.12) について安福部長より説明があった。その後の議論で以下のことを確認した。

「課題：専門分野の情報共有と提供」 議事録の公開を徹底することとし、公開する議事録は原則として各委員会までとするが、WG の議事録は各委員会の判断による公開を妨げないこととする。

「海外への基準・マニュアル普及」

・改訂前の英文基準について 潜在的なニーズはあるので、利用にあたっての注意事項を明記した上で、HP で無償公開することも考えられる。改訂前の基準の公開の是非やその方法について委員会に持ち帰り議論する。

・改訂後の英文基準について 改訂基準については、英文化まで手が回っていないのが現状である。英文化にかかる費用の調達方法、英文の水準の確保の方策、実施体制が明確になっていないことが問題であり、基準部として、具体的な方法を各委員会の意見も踏まえて方針を明確化する。

(2) 東北地方・太平洋沖地震対応

(3) 英文HP

第 1 次案が広報委員会より送られてくるので、全体の書きぶりやフォーマットを確認した後に各委員会に修正を依頼する。(担当：西岡委員)。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

- ①岩石の繰返し強度試験方法基準化 WG の構成 (資料-23.2.1)

WG の構成を承認した。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

- ①ワーキング 2 (委員の追加) メール審議済 6/20

・小高 猛司 氏(名城大学理工学部建設システム工学科)

理由：軟岩試料の品質評価について、現在のメンバーには専門的に研究をしているものがおらず、最新の研究成果を反映させることが困難であるため、この分野の第一人者である小高先生にご参画いただき、執筆をご担当頂くこととしたい。

- ①ワーキング 3 (委員の追加) メール審議済 6/20

・長谷川 琢磨 氏((財)電力中央研究所地球工学研究所バックエンド研究センター)

理由：地下水調査関係の解説執筆にあたり、「水質分析及び同位体分析による地下水流動調査」の部分において現在のメンバーのみでの対応が困難であるため、本件に精通した委員を追加したい。

- ①ワーキング 10 (委員の交代) メール審議済 6/11

・杉山 友康 委員 (公益財団法人鉄道総合技術研究所防災技術研究部)

→太田 直之 氏 (同所)

理由：人事異動および東日本大震災の対応により繁忙となるため

- ①ワーキング 2 (委員の追加) メール審議済 5/19

・片山 浩明 氏 (東邦地下工機 (株) 企画開発本部開発部)

理由：第 4 編ボーリングの改訂の作業量を勘案した結果、現在のメンバーのみでの対応が困難であるため、ボーリングに詳しい委員を追加したい。

(3) ISO 国内委員会 (資料-23.2.2)

①ISO/TC221 国内専門委員会 メール審議済 5/23

(1)委員長の交代

- ・三木 博史 委員長→宮田 喜壽 氏 (防衛大学校)

(2)幹事の交代

- ・宮田 喜壽 氏 (防衛大学校) →椋木 俊文 氏 (熊本大学大学院自然科学研究科)

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員公募への応募 継続審議

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 国際会議派遣

(資料-23.2.3)

○会議名：CEN/TC 341/WG 6 会議への出席 メール審議済 5/9

- ・派遣先：ゲント (ベルギー)

- ・出張者：豊田 浩史 委員 (ISO 国内委員会)

- ・期間：5月15日～5月20日

- ・理由：CEN/TC341/WG6 (Laboratory tests on soils：室内土質試験)において、12の室内土質試験のISO規格の策定が行われてきている。日本は、これらの中で11の規格・基準を有しているため、会議において積極的に意見を発し、我が国への影響がないように対策を進めておく必要がある。今回は、第5回目の会議となるが、ISO規格の今後の動向を把握し、必要に応じて国内委員会において対策を講じる。

- ・費用：地盤工学会 ISO 対応活動費

○会議名：ISO/TC 190/SC 3/WG 10 調整会議への出席 メール審議済 5/9

- ・派遣先：済州 (韓国)

- ・出張者：今井 一成 メンバー (ISO/TC190/SC3/WG10)

- ・期間：5月20日～22日

- ・理由：別添資料参照

- ・費用：経済産業省委託費

○会議名第11回 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 会議への出席 メール審議済 5/9

- ・派遣先：ウィーン (オーストリア)

- ・出張者：坂井 宏行 メンバー、野上 太郎 メンバー、藤田 毅 メンバー
(ともに、ISO/TC190/SC3/WG10)

- ・期間：5月29日～6月2日

- ・理由：別添資料参照

- ・費用：経済産業省補助ならびに同委託費

○会議名：ISO/TC 190 年次総会 メール審議済 5/9

- ・派遣先：アデレード (オーストラリア)

- ・出張者：TC190 国内専門委員会 委員2名 (予定：SC7 主査 肴倉浩史 氏 (国立環境研究所))
(予定：SC4 主査 中森泰三 氏 (横浜国立大学))

- ・期間：最大5泊7日 (会議日：9月19日～23日)

- ・理由：地盤工学会は国内審議団体としてこの総会に10年以上積極的に参加しており、日本の地盤環境分野の基準に関係する分野が多く、毎年総会のフォローが必須の状況である。近年は土壌環境センターと共同で派遣を行っているが、分野が広範囲に渡るため、地盤工学会から2名を派遣をしたいと考えている。

- ・費用：地盤工学会 ISO 対応活動費

○会議名：CENTC 292 & TC 345 年次総会 メール審議済 5/30

- ・派遣先：ハーグ (オランダ)

- ・出張者：坂井 宏行 委員 (TC190/SC3/WG10 運営 WG グループリーダー)

- ・期間：6月15日～6月18日

- ・理由：添付ファイルを参照

- ・費用：経済産業省委託費

○会議名：ISO/TC 190/SC 3/WG 10 調整会議 メール審議済 6/14

- ・出張者：今井 一成 委員 (TC190/SC3/WG10 運営 WG)
- ・派遣先：バーネベルド (オランダ), ロンドン (イギリス)
- ・期 間：7月18日～7月23日
- ・理 由：添付ファイルを参照
- ・費 用：経済産業省委託費

(2) ISO 制定業務における資金援助について (資料-23.2.4)
ISO 制定業務において、関連企業からの資金援助を受けることを承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係
特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
(1) 地盤工学会基準 (JGS) の改正素案 (資料-23.2.5, 資料-23.2.6, 別添資料-1)

編・WG 番号	章タイトル	基準番号
第1編 (WG9)	岩盤分類	岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法 3821, 3811, 3821
第3編 (WG1)	物理探査・検層	1121, 1122 (2 基準)
第5編 (WG2)	ボーリング・サンプリング	1221, 1222, 1223, 1224, 1231, 3211 (6 基準)
第6編 (WG4)	サウンディング	1411, 1431, 1433, 1435 (4 基準)
第7編 (WG3)	地下水	1311, 1312, 1313, 1314, 1315, 1316, 1317, 1321, 1322, 1323 (10 基準)
第8編 (WG5)	載荷試験	1521, 1421, 3531, 3511, 3411, 3421, 土壌硬度試験, 針貫入試験
第9編 (WG6)	現場密度試験	1611, 1612, 1613, 1614 (4 基準)
第10編 (WG7)	現地計測	1711, 1712, 1718, 1721, 1725, 1731, 3711, 3731, 3541, 3551, 3721, 3722 (12 基準)
第11編 (WG8)	環境化学分析のためのサンプリング	1911, 1912, 1921, 1931, 1951, 1941, 1942, 1943 (8 基準)

※赤字の編が、今回審議案件、黒字は前回審議案件。今回は前回の指摘部分の修正報告
前回審議案件について承認した。今回の審議案件について改正の要点について説明があった。
各委員で基準に目を通し、修正・意見がある場合には7月下旬までに利藤委員または長田委員に
連絡することとなった。

(3) WG3 新規基準化検討 WG 関係のアンケート調査実施について メール審議済 6/20

・「不飽和地盤の原位置透水試験方法(仮称)」、「孔内流向流速測定方法」の2件について新規基準化検討 WG 活動を開始したが、改めて実務の現状(ニーズ)を把握するために広く会員にアンケートを実施したい。また、学会 HP やメーリングリストを活用したいので、併せて了承を頂きたい。

(4) 地盤調査の方法と解説の規格・基準改正に伴う ISO の取扱いに関して (資料-23.2.7)

規格・基準の ISO 規格への対応についてこれまでの経緯についてオブザーバーとして参加した田中氏より説明があり、その後意見交換を行った。その結果、ISO 化に関する今後の学会の方針を検討するための集まりを持つこととなった。参加メンバーは、基準部メンバー、ISO 委員会、試験法委員会より選出し、基準部長よりメンバーに参加を打診する。次回開催案は部会開催に併せて9月26日とする。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係
特になし。

9. 販売促進 WG
特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

報告事項

1. 理事会（4月22日、5月13日、6月10日）開催報告 (資料-23.2.8)

基準部に関する事項について説明があった。

2. 全体関係

特になし。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成23年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100万円		×		
・三菱総合研究所（回答作成）	50万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	135万円		○		
・日本土木工業協会	50万円		未定		
・日本規格協会	×				
・経済産業省		300万円	○		
小計	335万円	300万円			
合計	635万円				

(2) 地盤工学表記法委員会

① H23 第2回委員会（6月8日開催）報告

(資料-23.2.9)

平成23年度第1回委員会議事録をもとに活動報告があった。

(3) 室内試験規格・基準委員会

特になし。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① H23 第1回委員会（5月16日開催）報告

(資料-23.2.10)

平成23年度第1回議事録をもとに、各WGの活動報告があった。

② 規格・基準作業進捗表

(資料-23.2.11)

進捗に特に問題がない旨の報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進WG

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

●H23年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日、太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会	大谷 順	
・WG1 ISO/TC182 対応	木幡 行宏	
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	
TC190/SC3/WG10 対応 WG	(坂井宏行)	
・WG3 ISO/TC221 対応	三木 博史	

室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締めめ特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (細野高康) (太田岳洋) (藤原照幸) (仙頭紀明) (高木宗男) (棕木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 (第3編) ・WG2 ボーリング・サンプリング (第4,5編) ・WG3 地下水 (第7編) ・WG4 サウンディング (第6編) ・WG5 載荷試験 (第8編) ・WG6 現場密度試験 (第9編) ・WG7 現地計測 (第10編) ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング (第11編) ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 (第1,2編) ・WG10 地盤環境調査 (第12編)	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	

5. その他

- 1) 理事会 (平成23年 7月29日 (金) 開催予定) への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会 (平成 23 年 7 月 12 日 (火) 開催予定) への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23 年度第 3 回 : 平成 23 年 9 月 26 日 (月) 14:30 時～
(対応理事会 H23. 3.18 or 4.22)
 - ・ 23 年度第 4 回 : 平成 23 年 11 月 日 () 14:00 時～
(対応理事会 H23. 5.13 or 7.)
 - ・ 23 年度第 5 回 : 平成 24 年 1 月 日 () 14:00 時～
(対応理事会 H23. 3.18 or 4.22)
 - ・ 23 年度第 6 回 : 平成 24 年 3 月 日 () 14:00 時～
(対応理事会 H23. 5.13 or 7.)
 - ・ 24 年度第 1 回 : 平成 23 年 5 月 日 () 14:00 時～
(対応理事会 H23. 3.18 or 4.22)

☆ 平成 23 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程 (予定含む)

- ◎理事会 ○ 運営連絡会議
- ① 4 月 22 日 (金)
 - ② 5 月 13 日 (金)
 - ★ 6 月 10 日 (金) 総会/理事会

- ③ 6月24日(金) ※書面審議
- ④ 7月29日(金)
- ⑤ 9月30日(金)
- ⑥ 10月28日(金) ※書面審議
- ⑦ 11月30日(水)
- ⑧ 12月22日(木) ※書面審議
- ⑨ 1月27日(金)
- ⑩ 2月24日(金) ※書面審議
- ⑪ 3月16日(金)

-
- ⑫ 4月27日(金) ※書面審議
 - ⑬ 5月18日(金)
 - ★ 6月 日 () 総会/理事会